

せいけん
詩集

第九十五篇

作：近藤せいけん

「百転び 百一起き」

ななころ 七転び やお 八起き

ななかい 七回転んでも

はちかいめ 八回目に起きれば

いいんだ

「へえ そんなに

少ないの」

「どうして」

「私もつと

沢山転んで いるよ」

「あ、そう」

たくさん 沢山 たくさん 転んで

たくさん 沢山 たくさん おお 起き上がる

ひゃくころ 百転び ひゃくいちお 百一起き

じんせい 人生つて おもしろ 面白い